

ナラ・インチ材の天然乾燥における価値変化

小 杉 隆 至 鎌 田 昭 吉

製材工場で挽材された“インチ材”は通常天然乾燥を行った後に取引される。この乾燥の過程において木口割れ・表面割れ・くされなど、いろいろな欠点が発生するために、乾燥材の改造（手直し）・品等低下といったロスをとらなう。

従来実施されて来たインチ材の歩止り調査では天然乾燥前の製材歩止りであり、天然乾燥試験も技術的問題が主体となっているためその間の価値変化をみる事が出来なかった。この様な点を補足する意味において簡単な調査を行ったので紹介したい。勿論天然乾燥中の価値変化は各種条件により異なるため、ただ1回の調査によって断定することは出来ないものであるから、今後機会がある度に繰返したいと考えている。

1. 天然乾燥による形量変化

樹 種：ナラ

挽立期日：39.7.13~20

極積位置：旭川市内（当林産試天乾場）

乾燥期間：39.7.21~9.24

生産工場でナラ原木121m³から木取りされたインチ

製材約22.4m³について、極積前にあらかじめ形量・

品等を調べた資料と極卸・改造後の資料を比較してみ

ると第1表の通り、ナラ・インチ材に対する最終製材

（インチ・一般材）の形量歩止りは96.4%である。特に

生産量の多いインチ平板にかぎって、1枚毎形量・品

等の変化を調べた結果、極卸した後に改造を加えられ

第1表 天然乾燥による材種品等変化の比較 m³, () 個数

(1) 極積前 インチ材 内訳					(2) 極卸・改造後の最終製材 内訳						
材種	品等	I	II	III	計	材種	品等	I	II	III	計
イ ン チ 材	平 板	4.0833 (233)	10.8523 (771)	1.2020 (90)	16.1376 (1,094)	イ ン チ 材	平 板	4.5941 (278)	8.2612 (599)	2.1561 (184)	15.0114 (1,061)
	短尺平板	0.1841 (32)	0.8988 (168)		1.0829 (200)		短尺平板	0.5142 (98)	0.4820 (89)		0.9962 (187)
	ストリップス類	0.7775 (295)	3.1415 (1,182)		3.9190 (1,477)		ストリップス類	2.4673 (1,021)	1.4564 (469)		3.9237 (1,490)
	短尺角物類	0.3214 (58)	0.8941 (246)		1.2155 (304)		短尺角物類	0.7009 (201)	0.3434 (96)		1.0443 (297)
インチ材合計		22.3550m ³ 3,075個				計					20.9756 (3,035)
形量歩止り		(2)/(1)				一 般 材	厚 板	0.0507 (4)	0.0502 (3)	0.2386 (8)	0.3395 (15)
インチ材		93.8					板		0.0433 (6)	0.0149 (4)	0.0582 (10)
一般材		2.6					正割, 平割		0.0447 (25)	0.1266 (52)	0.1713 (77)
合 計		96.4 (%)					計				0.5690 (102)
(注) 品等 I, II, III はインチ材については夫々 FAS No. 1, No. 2, 一般材については 1, 2, 3 等を示す。											
		インチ材合計				インチ, 一般材合計		21.5446m ³ 3,137個			

